

埼玉県議会議員【草加市選出】

県議会ニュース

2018. 新年度版

県政に関するご意見  
ご要望をお寄せください。  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

公明党埼玉県議団ホームページ  
www.komei-saitama.com

草加市新里町 1422 番地  
☎ 048-929-2366

# がもつ徳明

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA



南 1 区草加市  
県議会議員

蒲生 徳明

歴史の転換期に生まれ合わせた責任と自覚で、  
新たな県づくりを目指します！

県民の皆さま、そして地元草加市民の皆様、こんにちは。  
今回の私の県政報告は、県の新年度予算概要と、昨年の決算  
委員会における私の議会質問の概要、又、議会活動を通して  
予算化を実現した主な実績等についてご報告致します。

人口減少、異次元の高齢少子化、進む核家族化などの生活  
環境の大きな変化、と技術革新の急速な進展など、早すぎる  
時代の変化に振り回されていると思うのは私だけでしょうか。  
県民の幸せこそ、県政の使命です。

今こそ、私はこの劇的な変化の時代に生まれ合わせた責任と  
自覚を持ち、今一度新たな決意で生活現場を見つめ県民の幸  
福を願い、日々行動を開始しようと考えています。県民の皆さ  
まの、尚一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

## 最近の主な活動から

1 月 25 日

### 視察報告① ー広島県のACP (アドバンス・ケア・プランニング)

広島県医師会を訪ね、「ACP (アドバンス・ケア・プランニング)」について、県医師会より説明を受けました。ACP は、将来受ける可能性がある医療やケアについて、あらかじめ自分の考えを家族や医療者と話し合っ「私の心づもり」として文書に残し、終末期の医療やケアなどに反映させる取り組みです。



1 月 26 日

### 視察報告② ー岡山市の介護サービス質の評価

翌 26 日午前には岡山市の「介護サービス質の評価」について視察しました。岡山市は平成 26 年から、要介護状態を改善した事業者に対する報奨金制度などのインセンティブを与える取り組みを実践しています。先駆的な取り組みをぜひ埼玉県にも活かすべく、視察させていただきました。



1 月 31 日

### 所沢中学校の公開研究授業を視察

所沢中学校の公開研究授業を視察しました。公明党も推進を訴えているアクティブラーニングの実践例の視察です。授業の形態は私達の世代が受けてきた「一斉講義型」のスタイルから、生徒参加型のアクティブラーニングに変わりつつあることを学びました。

2 月 8 日

### 埼玉県産業労働企業委員会県内視察

所属常任委員会の近県視察で、朝霞市の(株)エンルートを訪問。産業用ドローンの視察を行いました。その後、さいたま市内の久保浄水場を訪問。安定した水道供給のあり方についてお聞きしました。

2 月 9 日

### 埼玉県特別機動援助隊「埼玉 SMART」合同訓練に参加

午前中、埼玉県特別機動援助隊(埼玉 SMART) 合同訓練に参加。埼玉 SMART は平成 18 年に創設。今回は、陸橋が崩壊したことを想定した訓練などを視察しました。

2 月 14 日

### 視察報告

- ①京都市役所循環型社会推進部・ごみ減量推進課を訪問。
- ②大阪市の日本メンタルヘルス協会を訪ね、精神対話士の活動について伺いました。



2 月 15 日

### 草加かがやき特別支援学校保護者からの要望を伺う会の開催

～公明党のモットー「小さな声を聴く力」を胸に、  
過密化の弊害解消へ全力で取り組む。

以前より過密化による学習環境の弊害について、保護者より改善を求める声が寄せられていました。昨年私は、直接現地視察を行い、県教育局にその現状と保護者からの要望を伝えてきました。その後、2 月 1 日に小松県教育長が当校を訪問。長時間の視察を行っていただき、その後、この視察を受け、県特別支援教育課と保護者との意見交換の場を持つことができました。その結果、トイレの整備、校庭や階段、水道、物品の収容スペースの確保などはじめの一步ではありますが、子供たちの学習環境の整備を進めることができました。これから夏にかけて、保護者、学校側とも協議を重ね、来年度予算の獲得で更なる環境整備をすすめてまいる決意です。



2 月 20 日

### 産学官連携 AI・IoT セミナーへ

県の産業労働部 / 東洋大学情報連携学部学術実業連携機構の主催で開催された「産学官連携 AI・IoT セミナー」へ出席。IT 技術の目まぐるしいスピードの進歩、世界での使われ方に目を見張りました。

## ◇平成 30 年 2 月定例会は 2 月 20 日～3 月 27 日まで行われました。

### ◇予算特別委員会副委員長として

予算特別委員会は 3 月 9 日～3 月 22 日までの日程で、部局別質疑、総括質疑、討論採決が行われました。私は、予算特別委員会副委員長として委員長を補佐し、公平で円滑な議事運営にあたりました。



4 月 24～25 日

### 他県の先進事例を視察

福井県庁でオープンデータの取り組みについて視察し、その後移動して岐阜県庁で、インバウンド観光の推進についてお聞きしました。





【平成29年10月・11月閉会中  
決算特別委員会における質疑抜粋】

- 昨年、10月、11月の閉会中審査で決算特別委員会委員として質疑にのぞみました。（質疑と答弁内容全文については埼玉県議会ホームページでご覧下さい。）
- 1.（平成29年10月19日（木）病院局関係）**
- ・新館棟の建設による循環器・呼吸器病センターの病床利用率への影響について。
  - ・平成27年度と比較して医業収益に対する医業費用の悪化理由について。
  - ・がんセンターの病床利用率が新病院への移転以降上昇しない理由は。
- 2.（平成29年10月19日（木）企業局関係）**
- ・現在の浄水場の耐震化状況と、耐震補強工事の完成時期について。
  - ・直近の産業団地の分譲状況と、現在整備中の草加柿木地区産業団地の引合状況は。
- 3.（平成29年10月19日（木）下水道局関係）**
- ・県は、技術の継承や公共下水道事業の経営状況を踏まえた市町村支援に積極的に取り組むべきと考えるがどうか。
  - ・本県の流域下水道も積極的に再生可能エネルギーの活用に取り組むべきと考えるが。
- 4.（平成29年10月26日（木）総括的事項）**
- ・人口減少や急速な高齢化という課題に対し、「2025年問題」への取組を総括した時、これまでの取り組みに対する評価と課題について。
  - ・歳入決算額の増加した後の減少理由と、自主財源の構成比率の上昇理由について。
  - ・県税のうち地方消費税の収入済額は0.7パーセントの減少し地方消費税清算金の収入済額は前年度より10.1パーセントも減少しているが、この差はなぜか。
- 5.（平成29年10月26日（木）企画財政部（含 出納、監査事務局）関係）**
- ・県民満足度調査の在り方について。
  - ・「国の施策に対する提案・要望」の中で県が重要項目と定めている項目の実現状況は。
  - ・市町村への権限移譲について、市町村との連携や対策、対応について。
  - ・県庁LANにおいてセキュリティに関する事故は発生しているのか。
  - ・官民連携の推進の在り方について。
- 6.（平成29年10月27日（金）総務部（含 秘書課、人事委員会）関係）**
- ・「服務制度の改正等」について、新設した介護時間の利用人数と、現場の声は。
  - ・病気休暇の取得数について、精神疾患の割合が高いが、具体的な対応は。
  - ・「派遣研修」効果と採用枠の拡大について。
- 7.（平成29年10月27日（金）保健医療部関係）**
- ・5か年計画の目標である人口10万人当たり医師数の全国最下位脱出について。
  - ・小児救急電話相談#8000について、#7119への移行は順調なのか。
  - ・耐震化など、「災害に対応できる医療体制の整備」について。
  - ・「収容動物の致死処分数」の削減を加速する方策は。
  - ・「糖尿病の重症化予防対策の推進」について市町村との連携のあり方は。
- 8.（平成29年10月30日（月）環境部関係）**
- ・「異常水質事故対策」について、ここ数年の件数の推移と特徴、そして対応について。
  - ・「廃棄物不法投棄対策」について。
  - ・県保有PCB廃棄物の保管量と、いつまでに処分しなければならないのか。
  - ・県内事業所が保管する高濃度PCB廃棄物を処理できる施設と補助制度について。
  - ・「みどりの園庭・校庭促進事業」について、メンテナンス支援の在り方は。
- 9.（平成29年10月30日（月）県民生活部関係）**
- ・平成28年度のクラウドファンディング実施プロジェクトの実績と支援について。
  - ・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックについて、大会に向けた気運醸成・広報」の取組と、認知度を上げるための取組は。
  - ・「不当な取引行為を行う事業者の指導」について、行政処分の内容と具体的な事例は。
  - ・7件の行政処分について、この件数は全国的に見て多いのか少ない

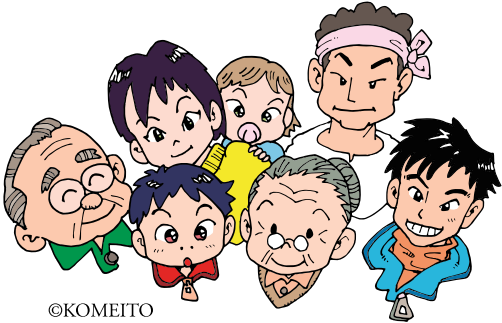


©KOMEITO

- のか。また、うち1件は事業者名が非公表となっているが、その理由は何か。
- ・「高齢者への交通安全教育の推進」について、更なる取組が必要ではないか。
  - ・「自主防犯活動団体『わがまち防犯隊』の育成・充実」について、わがまち防犯隊の代表者等を対象としたレベルアップセミナーの実施回数、内容、実施による効果は。
- 10.（平成29年10月31日（火）県土整備部（含 収用委員会）関係）**
- ・通学路におけるグリーンベルトの整備方針や効果について伺う。
  - ・「土木施設の災害復旧」で、平成28年度の土木施設の被災箇所数の増加について。
  - ・「地域建設業の振興」で、建設業の担い手の確保・育成を図るための取組について。
- 11.（平成29年10月31日（金）危機管理防災部関係）**
- ・「イツモ防災講座」講師養成研修と受講者の県民への防災に関する啓発は。
  - ・「危機管理マニュアルの検証・見直し」について。
  - ・「災害オペレーション支援システム」に障害が発生し使用不能になった場合の対応は。
  - ・救急救命士の消防隊への配備状況とあり方、全国順位について。
  - ・三芳町のアスクルの倉庫火災に際して出動した埼玉県特別機動援助隊の活動状況は。
  - ・県内の火薬類の使用量について。
  - ・世界的にテロ等が危惧されている中で、火薬類の盗難防止対策は万全なのか。
- 12.（平成29年11月1日（水）都市整備部関係）**
- ・埼玉県5か年計画の指標の「内水ハザードマップ作成市町数」について。
  - ・「緊急輸送道路閉塞建築物」の耐震化の進捗状況はどうなっているか。
  - ・「子育て世代・多子世帯向け住宅支援事業」の事業内容と成果について。
- 13.（平成29年11月1日（水）福祉部関係）**
- ・24時間定期巡回・随時対応サービスの提供状況と、機能や効果について。
  - ・生活支援コーディネーターに対する支援について。
  - ・「認知症ケアの支援」について、認知症サポート医や認知症サポーターの養成の効果は。
- 14.（平成29年11月2日（木）警察本部関係）**
- ・県内の暴力団勢力数の推移を伺いたい。
  - ・県内における暴力団情勢や、六代目山口組と神戸山口組との対立抗争等の現状は。
  - ・「埼玉県暴力団排除条例」制定後の取組やその効果を伺いたい。
  - ・「暴走族対策の推進」について中高生と暴力団とのつながりは。
  - ・悪質商法の相談数と、検挙に至らない事案についてその背景を伺いたい。
- 15.（平成29年11月2日（木）農林部関係）**
- ・「農業法人雇用促進事業」の効果について。
  - ・普及指導員は国家資格を持つ都道府県職員とのことだが、どんな活動をしているのか。
- 16.（平成29年11月24日（金）産業労働部（含 労働委員会）関係）**
- ・新製品開発やブランド化、販路拡大支援に係る具体的内容について。
  - ・「商店街のにぎわいづくり支援」の全県一斉商店街まつりの効果について。
  - ・「障害者雇用サポートセンター」の提案、助言内容と、その効果について。
- 17.（平成29年11月24日（金）教育局関係）**
- ・「小1問題対応非常勤講師の配置」について。
  - ・「特別支援学校就労支援総合推進事業」の就職支援アドバイザーの活動内容と成果は。
  - ・「チームぴかぴか」事業を南部と北部の2拠点で実施したとのことだが、成果は。
  - ・障害者の就労支援で、関係機関との連携、職場とのマッチングの重要性について。
  - ・「いじめ・不登校対策相談事業」について。



©KOMEITO

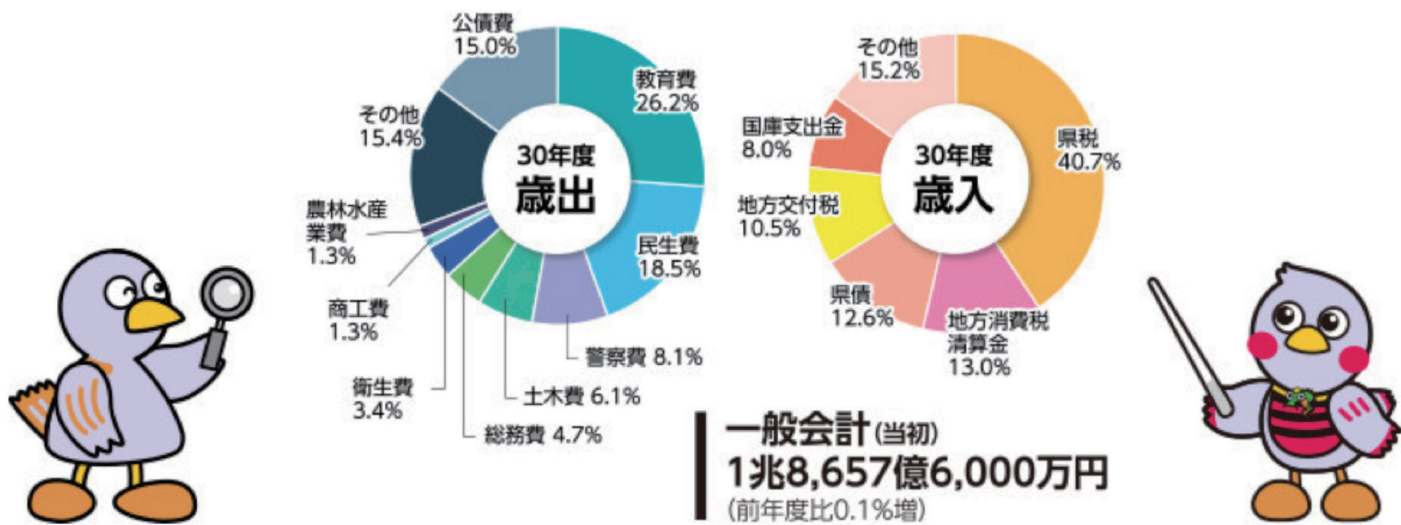


©KOMEITO



【未来への投資 県新年度当初予算の概要】

彩の国だよりから一部転載



【スマート社会へのシフト】

新たな技術による生産性向上

- AIを活用した、工場内の生産設備の故障を予測するシステムを開発し、県内中小企業の生産性向上の取り組みを支援します。[県先端産業課]
- 梨の摘果（てきか）※判断アプリを開発し、経験の少ない新規就農者などでも熟練者と同様に摘果できる仕組みを実現します。※品質の良い果実を育てるために不要な果実を間引くこと。[県農業政策課]
- ドローンからほ場を撮影することにより、作物の生育状況をマップ化して、作業効率化や最適な栽培管理を実現します。[県農業政策課]

県庁のスマート化

- AIで県公式スマートフォンアプリ「ポケットブックまいたま」の利用履歴を解析し、利用者のニーズに合った情報やサービスを提供します。[県情報システム課]
- AIを活用して、いつでも相談できるチャット（会話）形式による救急相談機能を整備します。[県医療整備課]
- レーザー測量機器を搭載したドローンなどで河川やダム状況を立体的に把握し、測量に要する時間や労力の効率化を図ります。[県水辺再生課]

【チャンスあふれる埼玉県】

結婚・出産・子育ての希望実現

- 出会いや結婚を望む人の希望をかなえるため、市町村や企業などと連携して支援します。また、「SAITAMA 出会いサポートセンター（仮称）」を開設し、AIを活用した結婚支援システムを導入します。[県少子政策課]
- 不育症※のリスク因子の検査費用や、がん治療を行う前に卵子や精子などを採取する費用の一部を助成します。（年齢制限あり）※2回以上の流産・死産もしくは早期新生児死亡によって児が得られないこと。[県健康長寿課、疾病対策課]
- 保護者が希望する時期に子供を保育所などへ入園させることができる仕組みを導入する市町村に助成し、いわゆる「保活」の負担の軽減を図ります。[県少子政策課]



貧困の連鎖解消

- 生活困窮世帯などの小学3年生以上を対象に学習・生活支援を行う「ジュニア・アスポート事業」を新たに実施します。また、中学生・高校生を対象とした学習支援も充実させます。[県社会福祉課]
- シングルマザーを支援するため、交流会や相談会などの開催、生活や子育ての経済的支援、就労につながる資格取得支援を一体的に行います。[県男女共同参画課、少子政策課、ウーマノミクス課]

シニアの活躍拡大

- 退職するサラリーマンを中心に「生涯現役カード」を配付し、仕事や地域活動などの身近な相談窓口を紹介します。また、現役世代を、シニア期に向けた準備を啓発する「シニアライフ案内士」として養成します。[県シニア活躍推進課]

【魅力発信 埼玉】

オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化

- 来年に迫ったラグビーワールドカップ2019™、再来年の東京2020オリンピック・パラリンピックの準備を着実に進めます。[県ラグビーワールドカップ2019大会課、オリンピック・パラリンピック課]
- 10月から12月の期間を「埼玉文化フェスタ2018（仮称）」とし、「埼玉WABI SABI大祭典2018」などさまざまな文化イベントを集中的に開催して、県の魅力を国内外に発信します。[県文化振興課]

経済の活力向上

- ナノカーボン、ロボット、医療イノベーション、新エネルギー、航空・宇宙の五つを重点分野と位置付け、先端技術の実用化、製品化、事業化を一貫して支援する「先端産業創造プロジェクト」を進めます。[県先端産業課]



## 【平成 30 年度 所属委員会等】

- ◎警察危機管理常任委員会 副委員長
- ◎公社事業対策特別委員会 委員
- ◎図書室委員会 委員
- ◎埼玉県国土利用計画審議会 委員

## 【新年度予算に反映された、がもう徳明の主な実績】

最近の議会質問を通して提案した内容が新年度予算に反映されましたので、ご報告いたします。

### 1. 中小企業の事業承継支援

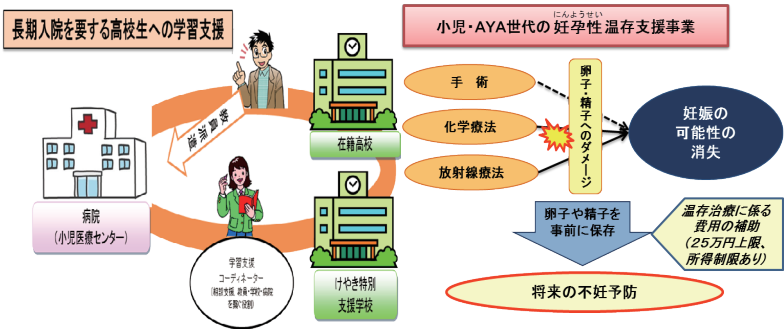
- 商工団体と産業振興公社の相談体制の連携・強化で、中小企業の円滑な事業承継を支援
- (1) 商工団体による事業承継支援（予算額 15,935千円）
  - (2) 中小企業支援センターによる事業承継支援（予算額 4,297千円）

### 2. 県有施設への公衆Wi-Fi整備

観光、防災及び施設利用者サービスの設置目的に応じて、県有施設へ公衆無線LANを一体的に整備する。東京2020オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ2019も視野に入れ、県有施設公衆Wi-Fi整備を段階的に推進する。（予算額 15,455千円）

### 3. 小児・AYA世代におけるがん対策の推進

- 医療技術やがん治療成績の向上により、長期生存が可能となった小児・AYA世代の若年がん患者に対しライフステージに合わせた総合的な支援を推進する。
- \*AYA世代とは、「Adolescent and Young Adult」の頭文字で、思春期世代と若年成人世代の15歳から39歳の若い年代を指す言葉
- (1) 小児がん医療連携体制の整備（予算額 23,774千円）
  - (2) 長期入院を要する高校生への学習支援（予算額 22,967千円）
  - (3) 妊孕性の温存支援（予算額 21,412千円）



### 4. 糖尿病重症化予防対策の実施

レセプトデータ等の分析に基づき、糖尿病の重症化を予防するとともに、医療費の適正化を推進するために、レセプトデータ等を活用した糖尿病重症化予防対策の実施。（予算額）178,272千円

### 5. 地域包括ケアシステムの構築促進

団塊の世代が75歳になる平成37年に向けて医療・福祉の包括的なサービス提供体制を構築するため、市町村の取組を支援する。（予算額）125,400千円

### 6. 介護人材の確保・定着の推進

介護人材の確保・定着の促進を図るため、介護未経験者の就労支援、高齢者等の就労支援、潜在介護職員の復職支援、介護福祉士養成施設在学者への修学資金の貸付け、法人間連携による合同面接会等の取組の推進などを行う。（予算額）552,673千円

### 7. 性犯罪被害者等支援の推進

被害の特殊性から被害が潜在化しやすく、そのため支援の手が届きにくい性犯罪被害に対する相談体制の強化及び経済的負担に関する助成により支援の強化を図る。

- ① 性犯罪被害相談体制強化事業  
性暴力等犯罪被害相談電話（アイリスホットライン）の相談時間の拡大。
  - ② 医療費等公費負担事業  
やむを得ない事情により警察に届出できなかった性犯罪被害者に対する医療費等の助成を図る。
  - ③ 法律相談等公費負担事業  
犯罪被害者支援の精通弁護士に対する法律相談費用の助成を図る。
- （予算額）11,658千円

### 8. 消費者被害対策の推進

消費者の利益を守るため、複雑・多様化する消費生活相談に対する助言やあっせんを行うとともに、悪質事業者に対する指導・処分を行う。

- ① 消費生活相談の実施  
消費生活相談員を配置し、県民からの相談に助言やあっせんを行うほか、困難事案の解決に向けた対応力強化を図る。
- ② 悪質事業者対策の推進  
県民の安心・安全な消費生活の実現のため、調査体制の強化を図り、悪質事業者に対する徹底的な指導・処分を行う。（予算額）116,556千円

### 9. 市町村と連携した消費者行政の推進

県及び市町村が連携を図り、高齢者等の消費者被害の防止、消費者教育の推進、消費生活相談窓口の拡充など、消費者を守るための体制強化を図る。（予算額）173,638千円

### 10. 青少年のインターネット対策

青少年のインターネットリテラシーを高め、ネットトラブルや長時間利用によるネット依存・健康被害、犯罪被害等を防止するとともに、家庭・学校・地域の見守りと指導力を向上させ、青少年をインターネットの有害環境から守る取組を行う。

◎ネットアドバイザーの充実・派遣（予算額）14,180千円

### 11. 救急電話相談の充実

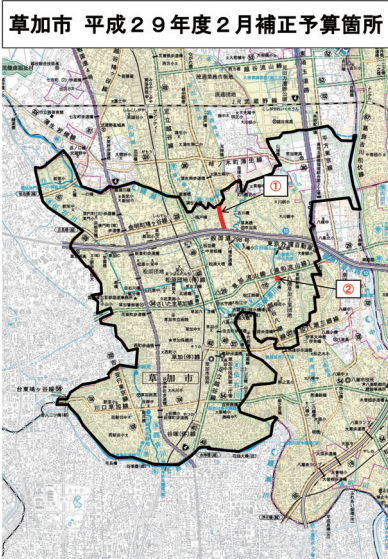
救急電話相談の24時間実施等  
救急電話相談（#7119）について、看護師による相談を24時間体制で実施（子供、大人）。また、必要に応じて医療機関を案内。（予算額）376,475千円

### 12. ふるさと創造資金（魅力ある地域づくり事業：25,000 千円）

- ①草加松原の魅力アップに資する和のおもてなし施設整備事業  
市の観光・文化芸術に関する取組を内外に発信し、体験できる和のおもてなし施設（日本文化芸術関連施設・日本庭園）を設置し、草加松原やその周辺の魅力アップを図る。  
⇒全体事業費 229,300 千円、本年度交付予定額 12,000 千円
- ②公園の拡張整備による地域活性化事業  
平成 27 年度に建設した八幡中央公園の拡張整備を行い、快適なまちづくりと地域コミュニティの増進を図る。  
⇒全体事業費 31,000 千円、本年度交付予定額 13,000 千

### 13. 2 月補正（国補正分）、新年度 草加市内の河川、道路整備予算

- ① 2 月補正 箇所  
1. 越谷八潮線（側溝整備）2. 古綾瀬川（護岸工）
- ② 2 月補正 箇所位置図



### 14. ①新年度 箇所

- 1. 草加三郷線（柳島）2. 草加三郷線（瀬崎）3. 足立越谷線 4. 草加流山線 5. 足立越谷線（高砂歩道橋・塗装塗替）6. 古綾瀬川（橋梁撤去他）7. 古綾瀬川（護岸工）8. 伝右川（鋼矢板護岸工）9. 伝右川（鋼矢板整備他）

